

第9回

春の園芸・家庭菜園準備のお手伝いそして夏への楽しみ

里やまのめぐみ 頒布会

のお知らせ



松風公園のホタル保全・復活活動は、東松山市環境基本計画市民プロジェクト登録のボランティア活動です。活動域は『関東・水と緑のネットワーク拠点(百選)』に選定されている生物多様性に富んだ貴重なところです。

毎年春先にホタル生息域環境維持・改善のため落葉掻きをする前に、腐葉土の活用とその中で生長しているカブトムシ幼虫をみなさんの手で飼育してもらおうとこのイベントをおこないます。

日時：3月25日（土曜日）午前9時より
雨天順延（26日）

場所：松風公園最奥の腐葉土ボックスのある所

腐葉土用袋や捕虫箱などは各自でお持ちください。

屋外活動ではありますが、念の為、マスクや手袋着用等コロナ対策を十分行なっての参加をお願いいたします。

情報発信 <http://qryo-hotaru.org>
<http://www.pac.or.jp>

問い合わせ contact@qryo-hotaru.org



東松山市環境基本計画市民プロジェクト **丘陵ホタルを守る会**

共催 公益財団法人 **東松山文化まちづくり公社**

頒布する腐葉土について

コナラ、クヌギの落葉は何も手を加えないでおくとも腐葉土になるには普通2～3年かかります。松風公園の最奥部のここでは1年間で熟成されます。

木立に囲まれた中に落葉箱が置いてあるので、カブトムシが卵を産み幼虫の生育のための潤沢な餌となり腐葉土化が促進されるのです。(正確にはカブトムシ幼虫の排泄物の塊)ただ、生育環境が良いので淘汰されず旺盛な生長期を迎える春先には餌がなくなり、危機的状況を迎えます。毎年数百匹のカブトムシ幼虫が出てくるので、欲しい人には腐葉土と一緒に持ち帰って飼育してもらっています。



おちばか 落葉掻き作業体験も

参加募集

3月30日(木)、4月6日(木)

4月13日(木) 毎回午前9時より(雨天中止)

集合 松風公園最奥部出島ベンチ

ホタル生息域の周りに積もった落葉を集めて、頒布会で空になった腐葉土箱に運びこみます。これにより水質の維持と生育環境の改善につながればと毎年春先におこなっています。

夏により多くのホタルが見られることを期待しながら、ちょっとなまった体を自然の中で動かしませんか?お誘い合わせの上、地域ボランティア活動に参加してください。

また、少し温んできた水の中の落葉をすくう時に、水棲生物調査も合わせて行います。トウキョウサンショウウオの卵塊も見られ、身近な自然の豊かさを実感できますよ。

